

2011.9.17

生誕200年 **ピアノの魔術師** **リスト** **第3回**  
**交響詩の創始者**

プログラム

今年生誕200年を迎えたハンガリーの生んだ大作曲家、フランツ・リストを特集するシリーズの第3回目、今日で最終回です。リスト唯一のピアノ・ソナタは大規模のソナタ形式による単一楽章の作品で、リストを代表する傑作のひとつ。調性のないバガテルは、その名の通り調性を持たない実験的な作品ですが、前衛的な曲想を先取りした感のある小品です。「マゼッパ」と「オルフェウス」は交響詩の創始者としてのリストを知る上で重要な作品。「マゼッパ」はピアノ曲として作曲した作品を基に、英雄マゼッパを描いたビクトル・ユーゴーの叙事詩「マゼッパ」に感化されて書き上げた逞しい響きと力感に溢れた作品。オルフェウスはルーヴル美術館で観たエトルリアの壺に描かれたオルフェウスの姿から靈感を得て作曲されたと言われていますが、高雅な響きと瞑想的な美しさを持った佳曲。ピアノ協奏曲第1番は、ピアノを知り尽くしたリストならではの技巧と楽想の妙に魅せられるこのジャンルの名曲のひとつです。一方で、リストは多くの作曲家達の作品をピアノ用に編曲したことでも知られていますが、そんな中から今日はヴェルディとモーツァルトの名曲を編曲した作品も合わせてお聴きください。

3回に分けてリストの作品をご紹介しますでしたが、リストにはまだ多くの作品が残されています。この特集がリストという作曲家に興味を持つひとつのきっかけになればと思っています。

\*\*\*\*\*

**フランツ・リスト (1811~1886):**

**ピアノ・ソナタ 短調**

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)  
(1990.8.18 サルツブルク祝祭大劇場でのLive)

**調性のないバガテル**

アンドレ・ワッツ (ピアノ)  
(1986.11.22 東京文化会館大ホールでのLive)

**交響詩 “マゼッパ”**

ジュゼッペ・シノーポリ指揮ウイーン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1996.9.11 ルツェルン、クンストハウスでのLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

**フランツ・リスト (1811~1886) 編曲:**

**“アイーダ”からの神聖な歌と踊り (ヴェルディの歌劇“アイーダ”より)**

アルド・チッコリーニ (ピアノ)  
(1994.11.21 東京文化会館大ホールでのLive)

**涙の日よ (モーツァルト “レクイエム” 第7曲)**

リーズ・ドウ・ラ・サール (ピアノ)  
(2011.5.17 紀尾井ホールでのLive)

**フランツ・リスト (1811~1886):**

**交響詩 “オルフェウス”**

ジャン・マルティノン指揮ハーグ・フィルハーモニー管弦楽団  
(1974.6.26 ハーグ、コンGRESヘボウでのLive)

**ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調**

ニキタ・マガロフ (ピアノ)  
朝比奈 隆指揮ウイーン・トーンキユンストラー管弦楽団  
(1984.9.20 リンツ、ブルックナーハウスでのLive)